
教員のICT授業活用力向上研修システム

活用マニュアル

福岡県教育センター

目 次

1.	ICT 授業活用力向上研修システムの概要	3
1-1.	研修システム開発の背景	3
1-2.	研修システムの内容	3
1-3.	研修システムを活用した教員研修	4
2.	ICT 授業活用力向上研修システムの利用方法	6
2-1.	研修システムの利用申請から利用、終了まで	6
2-2.	ICT 授業活用力に関する実態調査の実施	13
2-3.	実態調査後の集計・分析方法	17
2-4.	個人別評価票の出力方法	23
2-5.	研修カリキュラム	24
2-6.	実態調査結果に基づく研修計画の立案	28
2-7.	研修オリエンテーションの実施	31
2-8.	個別研修の実施	32
2-9.	集合研修の実施	42
2-10.	集合研修マニュアル	Web
2-11.	個別支援の方法	48
2-12.	実態再調査の実施と総括	51
2-13.	ICT 環境の整備	54

1. 研修システムの概要

1-1 本システム開発の背景

平成 19 年 2 月、文部科学省は児童生徒の「学力向上」「情報活用能力育成」及び「校務の効率化」を図るため、五つの大項目で構成された評価規準である「ICT 活用指導力チェックリスト」を公表しました。そして、平成 22 年度までにチェック項目全体について、すべての教員が、3「ややできる」又は 4「わりにできる」と回答することを目標に掲げています。

「学力向上」における ICT 活用の効果について、文科省の報告では、特に教員が ICT を用いて提示する活用形態で効果が見られたという結果も発表しました。

このことを受けて、小学校の新学習指導要領総則編の中では、「授業の中で教員が ICT の適切な活用を図る」ために、まずは ICT の操作に習熟すること、それぞれの情報手段の特性の理解や指導の効果を高める方法について絶えず研究することが求められています。

今や、授業の中で ICT を活用して指導できることは、すべての教員が身につけるべき必須の力となりました。

本県では、教育力向上県民会議の提言の中で、「わかる授業」を行うための教材研究、指導方法の工夫改善等を日々行っていき強い使命感をもち、結果責任を果たす教員育成の重要性が挙げられました。したがって、「わかる授業」を支援する ICT の活用力を、すべての教員に身につけさせることは、その一方策となります。

しかし、平成 20 年 8 月に発表された「教育の情報化の実態に関する調査結果」を見ると、教師が授業で ICT を活用して指導する力について、3「ややできる」又は 4「わりにできる」と回答した教員は 55%にとどまっています。

私たちは、このことについて、校内で ICT 研修を実施している学校が約 30%しかない調査結果と関係があると考えています。一人ひとりの教員の活用力の向上を図るためには、研修の在り方を工夫する必要があります。

そこで、わたしたちは、学力向上に直結する分野である授業の準備や授業中に教員が ICT を活用する力に項目を絞って「ICT 授業活用力」としました。そして、一人ひとり異なる教員の活用力を効果的かつ効率的に向上させるため、主に小学校の管理職や研修担当者向けの、校内研修を支援するシステムとして開発しました。

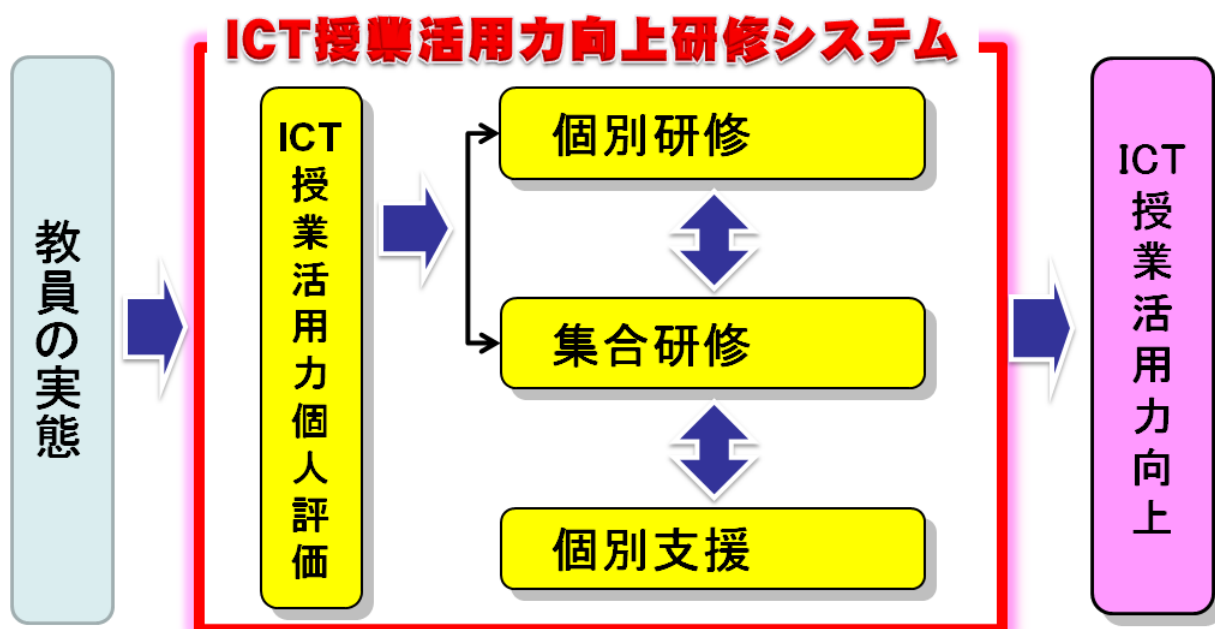
1-2 研修システムの内容

本研修システムの基本コンセプトは個々の教員の活用力の実態把握をもとに、授業で活用するための基礎知識や基本操作を習得、定着させて日常の授業活用につなげることです。

具体的には、

- ①個々の授業活用力を評価・分析して、研修の計画に役立てる ICT 授業活用力個人評価
- ②当センターの e-ラーニングシステムを活用して、ICT に関する基礎知識や授業活用事例の参照などを個別に研修して集合研修を補う個別研修
- ③ICT の授業活用を想定した研修内容を集団で学び合う集合研修
- ④ICT を使い慣れていない教員に対して、集合研修の内容定着を図り、日常の授業で活用する段階におけるフォローアップを行う個別支援

以上の 4 本柱の構成で 活用力アップを図ります。



ICT 授業活用力向上研修システムの構成

本研修システムは、各学校の校内研修で使ってもらうために、具体的な研修の方法・カリキュラム・教材をセットにして提供します。

1-3 研修システムを活用した教員研修

本システムは、教員の ICT 授業活用力を向上させるための校内研修で活用するための研修システムで、主として小学校の管理職及び研修担当者を主な対象としています。

本システムを活用した教員研修の手順は以下のとおりです。() 内は、それぞれの利用ステップにおける本システム目次の小項目に対応した部分です。

